

新人戦・選手権大会結果報告

■サッカー部 選手権大会

【2回戦】

新翔vs紀北工業 1-3 敗退

3年生にとっては最後の大会となった選手権。立ち上がりから緊張した様子で、自分たちのサッカーができず前半は1-2、後半は少し緊張もほぐれ、良い雰囲気では進むものの0-1の合計1-3で2回戦敗退となった。選手は最後まで諦めずに一生懸命戦った。



■女子バレーボール部 選手権大会

【予選グループ戦】新翔 対 県和商 0対2 (12-25、11-25)

新翔 対 近大和歌山 2対0 (25-11、25-14)

【決勝トーナメント(1回戦敗退)】

新翔 対 熊野 0対2 (3-25、12-25)

6月の総体以降、チームに残り練習を続けてきた3年生にとっては最後の大会であった。

決勝トーナメントでは、シード校の熊野高校と対戦し、一方的なゲーム展開となった。2セット目には3年生を中心に粘りを見せ勝負に挑んだが、熊野高校の高い壁に破れ、1回戦敗退となった。

■ソフトテニス部 新人大会

【男子団体】

▽1回戦

新翔 対 串本古座 0対2

【男子ダブルス】

▽1回戦敗退

室野・阪本組 住谷・の場組

畑中・太田組

▽3回戦敗退

角・岡鼻組

【女子団体】

▽2回戦

新翔 対 橋本 1対2

【女子ダブルス】

▽3回戦敗退

白倉・辻組 (ベスト32)

県新人インドア大会出場

▽4回戦敗退

上根・前田組 (ベスト16)

近畿インドア選手権大会出場

女子の個人戦で上根・前田組がベスト16に入り、近畿インドア選手権大会への出場権を獲得することができた。7月に行われた近畿選手権大会では団体戦で初戦敗退し、悔しい思いをしたので、一つでも多く勝てるように頑張りたい。

■ラグビー部

第93回全国高等学校ラグビーフットボール大会和歌山県大会

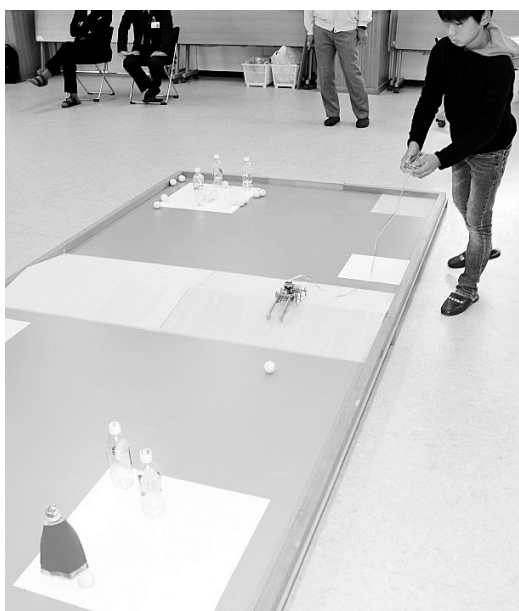
【1回戦】

新翔対新宮高校 7-17 敗退

3年生にとって、最後の大会。チーム一丸となって、新宮高校に挑んだ。前半は、リードしていい雰囲気の中、折り返すことができた。後半の半ばに逆転されたが、ワントライすれば逆転ができた状況だった。終盤は、攻め込んで敵陣にずっと張り付いている状態だったが、トライまで1秒が違った。新宮高校の粘り強いディフェンスに阻まれ、最後にミスをし、相手にボールを奪われ、そのまま得点まで持っていかれ、ノーサイド。1回戦敗退となった。



全日本小中学生ロボット選手権 新宮・東牟婁ブロック予選会



「全日本小中学生ロボット選手権 新宮・東牟婁ブロック予選会」が11月2、3日、本校キャリア教室にて開かれた。小学生の部では飯屋駿君(三輪輪小5年)が、12月15日(日)に御坊市立体育館で行われる本戦への出場を決めた。小学生の部は、6足歩行ロボットを操作し、ゴルフボールを決められたエリアに押しつけて転がし、相手のキング(ペットボトルで製作)を倒し合う競技。4人がリーグ戦で激しく争い、上位2名で決勝戦を行った結果、飯屋駿君が優勝した。

11月5日、和歌山ビッグイブ(和歌山市)にて、第33回和歌山県高等学校ラグビーフットボール大会が行われた。10分という制限時間内に課題となる問題文を、正確にどれだけ入力できるかが争点となる。県内の高校から10校が出場し、日頃の授業やクラブ活動などを通じて養った技術を競い合った。本校からは、2年生の龍谷了、田邊綾香、中村玲那、原田陸史の4名が出場した。出場校の上位3名の記録で争う団体戦では、総点数2222点で

中高連絡協議会 きのくに学び月間が11月1日から始まった。5日には中高連絡協議会が開催され、新宮市・東牟婁地方などの中学校10校が出席した。5限目に授業参観が行われ、参加した先生方は、各中学校から送り出した生徒や高校

の授業の様子などを熱心に観察していた。その後協賛会が行われ、竹村校長から本校の教育方針や意見交換がなされた。また、本校1学年担任団との懇談があり、各中学校の先生方は生徒の高校での様子などについて熱心に耳を傾け、情報交換を行った。



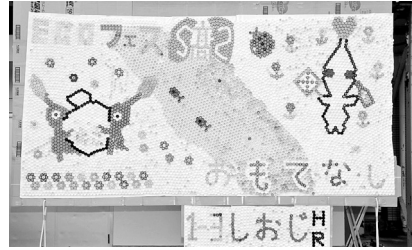
「新翔高校からのお・も・て・な・し」

第39回七海祭

新翔高校(竹村貢校長)では15、16日の2日間、第39回七海祭を開催した。今年度は「新翔高校からのお・も・て・な・しーOMOTENASHIー」というテーマの下、普段お世話になっている地域の方々に恩返しをできるような「おもてなし」をしようと考えた。また、以前より生徒からの要望があった2日間の開催にするため、生徒会と特別活動部で内容や日程を企画し、開催にこぎつけた。



1日目は、旧古座高校出身で現在は大阪を拠点に活動中のシンガー・ソングライターの南努(みなみ・つとむ)さんにミニコンサートをしていただき、開会を盛り上げていただいた。クラス企画においては1年生は展示・製作。2、3年生はステージ発表と食物パザールを実施。学年でクラスの企画を分けて行った。2日目の土曜日は、一般開放を実施。たくさんの方々が食物パザールや新翔マーケットをはじめ、文化部の展示、クラス企画の作品などで楽しんだ。2日開催になったことでイベントも昨年より少し増え、生徒会企画の「新翔O×Kイズ」には、本校生徒はもちろんのこと、招待した白梅保育園の園児をはじめ、一般来場者の方にも参加いただき、景品をめぐって楽しいひとときを過ごした。来年度は、「七海祭」と記載し始めてから40回の記念開催を迎える。もっと生徒からの意見を取り入れたい、いろんな企画を考えて、地域の方に喜んでいただけるような文化祭になるよう工夫していきたい。



11月19日、大阪税関和歌山税関支署新宮出張所の中田玲所長を講師に招いて、薬物乱用防止講座を開いた。対象は1学年全生徒。まずは、薬物を不正な目的や方法で一度でも使用するが犯罪になると、身体や精神を破壊し、家庭や学校および社会生活を崩壊させてしまうことを強く訴えた。次に、主な薬物と人体への影響を丁寧に解説。また、やめようと思ってもやめられない依存性の強さとその恐怖、所持しているだけでも罰せられるなど、軽い気持ちで手を出すと一生を台無しにしてしま



まう「勇気を持って絶対に断ること」についても分かりやすく説明した。

さらに、近年、若者の間で使用される社会問題になっている脱法ドラッグについて、既に規制されている薬物(コカインやヘロイン・MDMAなど)と同様に健康を害し、死に至る危険があると警鐘を鳴らした。

薬物への誘惑は、「これは法律で規制されていないから大丈夫」とか、薬物の名前を変えたりしながら、巧妙に忍び寄ってくる。「やせてきれいになる薬がある」「気分がスカッとするぞ」などの言葉にだまされたいたいめには、しっかりと知識を持つこと、自分だけは大丈夫と過信しない

こと、「近づかない。その荷物を運ぶだけの高額の場合から逃げる。大人や専門機関への相談」が大切であると教えられた。後半では薬物を国内に持ち込まないための税関の仕事とその成果が紹介されるとともに、最近マスコミにもよく取り上げられている「だまされ運び屋になる事例」が報告された。「この荷物

を日本まで運んでほしい」といった講座であった。

は4385字を超え、個がばっていつてほしい人では1615字を打つと思う。近畿大会が行われる来年5月まで、しっかり練習し好成績を収めてくれることを期待している。

クラブ紹介



空手道部

現在は、年生2名の部員で活動していません。昨年卒業した3年生が1人で部活動していたこともあり、1年生だけの部活動をがんばっています。顧問は空手道の素人ではありますが、生徒と共に練習に励んでいます。2名の部員は中学時代も道場へ通い、空手道の全国大会へも出場した経験を持っており、さらなる飛躍を期待しています。

高校で空手道をする者は、「最強の人から最高の人へ」の言葉の下、強いだけでなく人として良いと言われることを目指しています。これからも日々の練習、他校との合同練習、大会への出場を通じて、一人の人として成長していけるよう指導していきたいと考えています。

■新入大会で準優勝 近畿大会へ 11月9、10日に那智勝浦町体育文化会館で行われた和歌山県高等学校空手道新入大会において、栗原聡信君は形競技の

近畿大会出場 ワールド選手権

昨年(2012年)に続き4位となった。今回の近畿大会が和歌山県で開催されることもあり、出場枠が二つ増えたため近畿大会への出場が決まった。団体1位となった県和商の総点数

